

ふれあいミーティングを 6団体と実施

～町長とまちの課題について意見交換～

「町民の参加と協働のまちづくり」を進めるため、町民と町長が直接対話し、まちづくりの課題などを共有することを目的に「町政懇談会」を毎年開いています。

今年度は11月から12月にかけて、町内会や事業所、町内各種団体等の希望に応じて、町長が皆さんの活動の場へ出向いて懇談する形で開催し、6団体、72人にご参加いただきました。

ここでは、参加者から寄せられたご意見やご要望を抜粋、要約してご紹介します。各意見に対する回答については、現在までの情勢の変化などを反映させた内容に手直ししていますので、ご了承ください。



物価高騰対策

Q エネルギー価格の高騰などにより、物価高が進んでいる。多くの町民は生活が苦しいと感じているが、広尾町独自の生活支援策はあるのか。

A 物価高騰対策として町民全員が恩恵を受けられるよう令和4年11月分から令和5年2月分までの4か月分の水道料金の基本料を無料にする。

また、原材料や原油の高騰が事業者の経営を圧迫していることから、運送事業所や中小企業、個人事業主に対し支援金を支給する。

高齢者外出支援

Q 高齢者への外出支援の結果は。また、3か月間と期間が決められていた中で、もう少し長い期間で使えるようにしてほしい。

A 運転免許所有者を含めた75歳以上の1211人を対象に行い、申請者は450人、利用者は341人であった。今年度からは高速ひろおサンタ号でも助成券を利用できるようにし、利便性

向上に努めた。

令和5年度からは通年で支援事業を行う予定なので、ぜひ利用してほしい。

避難施設

Q 音調津の柳通り側の住民は音調津避難施設へ避難することができない。冬の災害時に命を守るため、早急に音調津の柳通り側の住民が避難できる施設の整備してほしい。

A 状況は理解している。住んでいる方が安心して生活できるよう早急に検討したい。

漁港のゴミ

Q 音調津漁港にゴミが放置されており、海洋汚染の一因となっているのでゴミ箱を設置できないか。

A 音調津漁港には注意看板を設置している。十勝港の漁港区にゴミ箱を設置したことがあるが、設置したことによりゴミが増えた。少しでも持ち帰ってもらうように周知をしていくとともに、目に余る状況であれば見回りを増やすなどの対応を行う。

公園整備

Q 新しい公園の整備を進めているが、現在子どもが多く遊んでいる既存の公園の整備が最優先ではないか。

A 新しい公園ができて、既存の公園の整備は継続して行っていく。それぞれの地域で安全に遊ばせることができる公園は必要だと考えている。

Q 新しい公園の防災機能とはどのようなものになるのか。

A 四阿やイス、ベンチなど普段は公園の設備となっているが、災害時にはテントやかまど、トイレとして



ふれあいミーティングの様子（紋別老人クラブ）

使用できるものを設置する予定。

人工透析治療

Q 町内で人工透析の治療をできるようにしてほしい。

A 広尾町から人工透析の治療で大樹町に通っている人は一定数おり、議会からも人工透析治療施設を整備するよう要望が出ている。

現在は、送迎サービスを実施しているが、町内で治療ができるようになることが一番だと考えている。病院の中期目標に人工透析治療を可能にするよう計画に盛り込んだ。今後4年間で実現に向けて進めていきたい。

シャッターアート

Q 商店街のシャッターアートの街の見栄えが良くなった。十勝港の壁画の老朽化についても同じ要領でできないか。

A シャッターアートは地域おこし協力隊の1人が地域おこし協力隊インターン制度を活用し、道外の大学生など4人が1ヶ月程度で行っ

た。十勝港の壁画については、足場を組む必要があり、多額の費用がかかるので一つの課題となっている。

大丸山森林公園

Q 冬と比べて夏の大丸山は催し以外で人が集まらない。ホテルやザリガニなどを見られるようにして、子どもが自然を体験できる場所にはならないか。

A 夏は人が来ないことについて、課題だと認識

している。ホテルはかつて放虫を行っており、定着したホテルが今もいる。夏の誘客も行わないともつたいないと感じており、何か検討したい。

イルミネーション

Q サンタランドのイルミネーションがとても良くなった。今後、大丸山森林公園人口までのイルミネーションを整備するとより魅力が増すのでは。

また、帯広方面から広尾町

へ来る人を出迎えるイルミネーションはきれいだが、えりも方面から来た人を出迎えるイルミネーションが何もない。黄金道路付近にもイルミネーションを整備しては。

A 今年は町内のさまざまな団体にご協力いただき、ウッドイルミネーションを昨年の1000個から5000個まで増やすことができた。いただいた意見も参考に、今後もより良いものとなるようにしていきたい。

令和4年度地域おこし協力隊員の活動について

水産商工観光課

- 【体験型観光推進担当（2人）】
一次産業を中心とした町の魅力を体験できるツアーの造成
- 【商工振興担当（1人）】
地域密着求人情報「ひろおしごと」の作成、シャッターアートの実施
- 【特産品開発担当（1人）】
町の新たな特産品開発に向けたアンケートの実施や試作品作成、既存産品のリブランディングなど

農林課

- 【サンタランドウッド推進・廃校舎再生担当（2人）】
ウッドランタン作成や木育フェスタの開催、旧野塚小学校校舎再生に向けた活動など
- 【農村活性化推進担当（1人）】
広尾町の農業の情報発信、農業ヘルパー活動など

※隊員数は令和4年12月末現在

隊員の活動については広報の「隊員日誌」や地域おこし協力隊Instagramなどでも発信しています。
今後の活動への応援をお願いします。



協力隊Instagram

<開催結果>

開催日	実施団体	参加人数
11/19 (土)	丸山7丁目シルバークラブ長寿会 丸山南7丁目町内会	11人
11/22 (火)	7丁目町内会	10人
11/24 (木)	並木高砂会	13人
11/26 (土)	音調津町内会	13人
12/3 (土)	紋別老人クラブ	14人
12/5 (月)	豊似老人寿会	11人
実施団体 6団体		参加人数 72人



冬季以外の大丸山活性化が課題